

校長室だより第5号（令和6年4月26日）

今日（4月26日）は避難訓練がありました。地震の想定で行いました。

まずは、机の下に隠れ、頭や体を守ります。

そして、揺れが収まった後、火事がおこる可能性（例えば調理中の給食室や実験中の理科室から出火の可能性が考えられます）があるため、グラウンドに避難します。

私は、1年生の廊下において、1年生の様子を見ていました。

○急な放送でパニックになる子がいるのではないかな。

○恐くて泣いてしまう子がいるのではないかな。

○机の下に隠れるのが楽しくなってしまう、騒ぎ出す子がいるのではないかな。

○避難するために廊下に並ぶとき、廊下を歩くときにおしゃべりをするのではないかな。

○避難場所まで行く際に、列がバラバラになったり、間が大きく空いたりするのではないかな。（補足：間が空くと、その間を詰めようと突然走り出す子がいて、転んだり、将棋倒しのようになったりするので危険。）

以上のことを想定していましたが、小学校に入学して初めての避難訓練だということにおしゃべりすることなく机の下に隠れ、黙って廊下に並び、静かに避難場所まで移動することができました。すばらしい。100点満点。いやそれ以上の得点をあげたいくらいです。

他の学年も緊張感をもって訓練に臨んでいました。その素晴らし姿勢を誉めました。

安全担当の教諭からは「おさない すばやく しゃべらない もどらない」の頭の文字をとって「おすしも」の話があり、私は「君たちは自分の命、友達の命を守るために今日のように本気で訓練を行ってください。もしも、大きな災害があった時には全力で先生たちが君たちを守るから心配しないでください。」と話しました。

災害は起こらないことが一番なのですが、そうもいきません。いつ、どこで遭遇してもよいように物の準備、心の準備が必要ですね。放課後等、家族がばらばらで過ごしているときに大きな地震があったとしたら、どうすればよいのか、どこで家族が落ち合うのかを話し合

っておくとよいと思います。